

平成 22 年度後期 I

3 年「環境保健学」(選択)

日 時：金曜日 9:00～12:10
場 所：医学部 3 号館 N101 教室
責任教員：渡辺 知保（人類生態学）

平成 22 年	10 月 29 日	(金)	環境保健学総論 渡辺 知保（人類生態学）	(於 N101)
	11 月 5 日	(金)	環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価 大迫 誠一郎（疾患生命工学センター）	(於 N101)
	11 月 12 日	(金)	職場環境における化学物質による中毒とその予防について 吉田 稔（八戸大学）	(於 N101)
	11 月 19 日	(金)	人と自然の共生からみた地域生態系健康論 本郷 哲郎（山梨県環境科学研究所）	(於 N101)
	11 月 26 日	(金)	大気汚染とその健康影響 新田 裕史（国立環境研究所）	(於 N101)
	日 程 調整中		環境リスクアセスメント論／疾病適応論・マラリアを題材にして（仮題） 中澤 港（群馬大学医学部）	

* 最終講義日は日程調整中。決定次第、再掲示します。

【参考書】

- ・井村裕夫、尾形悦郎、高久史麿、垂井清一郎編集『環境因子による疾患（環境性疾患 1）』／『最新内科学大系 75 巻』中山書房
- ・石弘之、安田嘉憲、湯浅赳男『環境と文明の世界史』洋泉社（2001）
- ・Millennium Ecosystem Assessment 編『国連ミレニアムエコシステム評価：生態系サービスと人類の将来』オーム社（2007）
- ・中島正博著『持続可能な発展のための人間の条件』大学教育出版（2005）
- ・中西準子、益永茂樹、松田裕之編『演習：環境リスクを計算する』岩波書店（2003 年 12 月）
- ・稲葉寿編著『感染症の数理モデル』培風館（2008 年 7 月）

【成績評価】 各回講義中の小テストあるいは小レポートによる